

『復職（両立支援）コーディネーター基礎研修（第一回）』の報告

勤労者メンタルヘルス研究センター・治療就労両立支援センター

第63回日本職業・災害医学会学術大会
第23回日本産業ストレス学会にて発表

【研修の目的】

- 復職コーディネーター基礎研修では、主治医と職域間の連携機能を円滑化させ、両立支援の促進を図る事を目的としています。
- 主治医と職域が連携を行う際に、医学的な症状だけでなく、職域との安全衛生要因に関する問題もあります。そして個人の衣食住、経済的な事、人間関係など、生活条件の問題等いくつもの要素を持っている労働者の現象をアセスメントしようとすると、職場側だけでは難しいということがあります。そこで、職場と医療側との連携を強化するために、必要なものは何かということを学ぶために、研修が計画されました。

治療と就労の両立

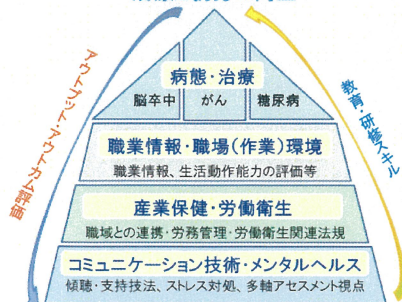


Fig. 両立支援コーディネーター基礎研修のコンセプト

左図は、復職コーディネーターの基礎研修の概念です。

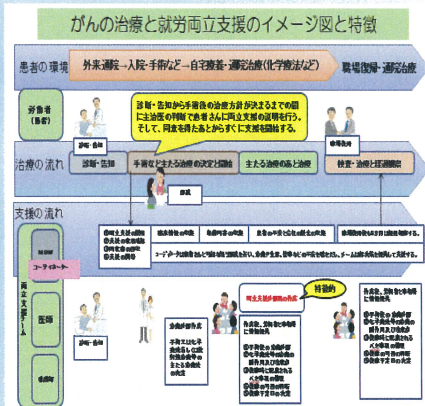
両立支援を行っていく上で、“必要なものをピラミッドのように積み上げていく”，というコンセプトのもとにつくられました。

患者へのストレスに対する、配慮や、コミュニケーション技術をブラッシュアップする事も、重要と考え、ピラミッドの1階部分に、コミュニケーション技術とメンタルヘルスを置くことと致しました。この基礎ができて、2階部分である、産業保健・労働衛生になります。そして、どのような疾患にも使えるような、機能評価表を使いアセスメントをするということと、3階に置きました。これらが準備できて、各疾患分野の知識・専門的認識は、その上に成り立つという方が、両立支援に適しているだろうと考えたものです。

下図は、がん治療と就労両立支援のイメージ図と特徴です。診断・告知の後から手術後の治療方針が決まるまでの間に、両立支援についての説明が、コーディネーターによって行われます。支援の意志が確認できたら、同意書を得て支援開始となり、多職種で編成された両立支援チームによって総合的支援が行われます。

2日間の復職コーディネーター基礎研修、タイムテーブルです。

1日目は実際の連携について、労働関連法令、コミュニケーション技術と闘病ストレスについて、外部の講師も招き講義が行われました。2日目は、具体的な職業情報収集のアセスメント、各分野の実際の事例検討、ケーススタディーや症例を見て、事業所側と連携をする際の、キーワードについて話し合いを行いました。



治療就労両立支援コーディネーター基礎研修（案） 第1日目

時刻	研修内容	所要時間(分)	講師
13:00~	開講	10	本研修企画担当理事
13:10~	1. 治療就労両立支援モデル事業の概要と経緯	20	本勤労者医療研究課長
13:30~	2. 職場が求める両立支援(職場との連携のポイント等)	60	みずほ情報総研 志保コンサルタント
14:40~	3. 労働衛生と障害者雇用(職場安全衛生管理・労働契約、関連法規等)	60	東京産業保健総合支援センター 副所長
15:50~	4. 社会資源(相談機関・社会福祉資源・リンク先)	60	大塚MSW (九井有希)
17:00~	5. コミュニケーション・闘病とメンタルヘルス	40	小山Dr. (豊田秀一・本部研究員)
18:00	意見交換会	前半研修時間 250分	

治療就労両立支援コーディネーター基礎研修（案） 第2日目

時刻	研修内容	所要時間(分)	講師
8:40~	6. 職業情報の収集(アセスメント)	20	豊田Dr. (豊田秀一・本部研究員)
9:00~	7. 各分野における両立支援の特徴・実践例(がん・脳卒中・糖尿病・メンタルヘルス(各20分))	80	各分野担当
10:30~	8. 分野別グループ研修(ケーススタディ、院内外の連携体系、当事者談話等)がん・脳卒中・糖尿病・メンタルヘルス	90	各分野担当
12:10~	全体討議(質疑応答)	40	WGファシリテーター
12:50~	閉講、受講証交付	20	本研修企画担当理事

後半研修時間 250分
全体 500分

医療サポーターとは?

私たちは、あなたのお役に立ちたい。がん治療や手術後の生活に悩んでいる方、安心して治療を受けることができるようサポートいたします。

医療サポーターとは、それぞれの専門分野においてあなたをサポートするために、サポートする専門職のことです。

誰にも相談できないこと、こんなことを相談してもいいかわからないことを、一人で悩まないで、何でもお気軽にご相談ください。

医療サポーターのご案内

【お問い合わせ先】
医療サポートセンター
電話番号 03-3742-7301 (内線)
FAX 03-3742-7342 (直通)
受付時間 平日 9:00~17:00

【所在地】
東京労災病院
〒114-8501 東京都品川区東品川4-1-1
http://www.tokyo-lab.jp

医療サポーターとしてこんな専門職があなたのくらしと治療のサポートをします...

- 【医師】 診断や治療について、痛みや副作用、生活など、医学的なことについて
- 【看護師】 日常生活について、からだの心配について
- 【薬剤師】 経済的な問題や保険・福祉制度の問題、仕事のことについて
- 【臨床心理士】 心の健康について
- 【社会福祉士】 生活・不安なことについて
- 【ケアマネジャー】 介護・生活の問題について
- 【作業療法士】 日常生活上の動作における工夫、福祉用具の紹介について
- 【リハビリスタッフ】

こんな時、お気軽にご相談ください!

- 「がん治療や手術後の生活に悩んでいる」
- 「痛みや副作用、生活など、医学的なことについて」
- 「日常生活について、からだの心配について」
- 「経済的な問題や保険・福祉制度の問題、仕事のことについて」
- 「心の健康について」
- 「生活・不安なことについて」
- 「介護・生活の問題について」
- 「作業療法士」
- 「リハビリスタッフ」

東京労災病院病院で作成しました、医療サポーターの案内冊子です。医療サポーターについて、支援を始める前に患者さんにお渡し、これを見ながら両立支援についてのご説明を行っています。

【研修の事後評価・課題】

- 第一回研修の受講者は、当機構内の医療ソーシャルワーカー（MSW）、認定看護師等計44名でした。
- 研修における習熟度は、5段階評価のうち「よく理解出来た」および「どちらかと言えば理解出来た」との回答が89.8%、満足度は、「おおいに役立てたい」および「どちらかと言えば役立てたい」が92.1%でした。
- 医療ソーシャルワーカーが持つ元々の経験やノウハウに加えて、基礎研修を修了して専門的なアイデンティティを獲得したことにより、両立支援に注力しやすくなっています。その事が、院内の連携にも良い影響を与えており、結果的に新規事例の両立支援にも繋がってきています。
- 本研修取組は、将来的にはコーディネーターの資格化を視野に置いており、第一回研修の事後評価を基に複数回の基礎的研修の後、アドバンスコースを計画中です。受講対象者も、当機構内のMSWから次第に他の専門職及び機構外に拡充していきたいと考えています。